

2025年 NPO法人フードバンクくるめ 通常総会のご案内



おかげさまでフードバンクくるめは設立から8年経過しました。昨年度の食品取扱量は43トンで、市内外の50団体以上に食品支援を行ってきました。連休中日ですが、下記の日程・場所で通常総会を開催致します。多数のご参加のほど、宜しくお願い致します。

なお、本会の定款に基づき、議決権は正会員と学生会員にあり、団体会員にはありません。当日欠席される方は、委任状を出して頂くか、QRコードからスマホで委任できます。

2025年4月29日(休) 午後1時受付、2時開催
会場：城島倉庫&事務所 (城島町城島689-2)

NPO法人フードバンクくるめ 通常総会 式次第

- ① 代表理事あいさつ
- ② 議長選任
- ③ 議事録署名人(2名)選任
- ④ 2024年度事業報告書
- ⑤ 2024年度活動決算書
- ⑥ 2025年度事業計画書 (案)
- ⑤ 2025年度活動予算書 (案)
- ⑦ 役員改選 (2年毎) (案)
- ⑧ 支援団体からの報告
- ⑨ 閉会

NPO法人フードバンクくるめ役員改選 (案)

役職	氏名
代表理事	浦川 豊彦
理事	綾戸 信之
理事	江頭 ひとみ
理事	田村 貴美子
理事 (会計)	馬場 浴文
監査	堺 英二郎

***** 切り取り *****

委任状

(右のQRコードからもスマホで権限の委任できます→)



2025年 4月 日

NPO法人フードバンクくるめ 代表理事 浦川 豊彦 殿

2024年度NPO法人フードバンクくるめ通常総会に出席できないので、議決に関する権限を議長に委任します。

所属団体名： _____

お名前： _____

年会費納入のお願い

NPO法人フードバンクくるめの活動は、個人・団体の年会費、賛助会費、寄付、それに補助金によって支えられています。特に、個人・団体会員数と会費納入率は、その団体や法人の実力や活動の広まりの客観的な指標のひとつです。

4月29日の通常総会開催時に納入して下さるか、毎週火曜と木曜の定期活動日にお持ち下さい。もしくは、下記の2つの金融機関の口座に振り込んでいただくことも可能です。

年会費はそれぞれ正会員 5,000円、学生会員 1,000円、団体会員 20,000円、賛助会員 10,000円となっております。

貴方の年会費は	年度分	円です。
---------	-----	------

振込先： トクヒ) フードバンクくるめ
ゆうちょ銀行 店番：758 店名：七五八(ナナゴハチ)
普通口座 0636759

NPO法人フードバンクくるめ 代表理事 浦川豊彦
トクヒ) フードバンクくるめ
福岡県信用組合 城島支店 店舗番号216
普通口座 0074088

2024年度 NPO法人フードバンクくるめ 事業報告書

2025.4.29

2024年度は2022年から世界中での燃料や食料品の高騰に加え、円安も重なってインフレ2年目になった。ことに米価は倍化した。そのため、昨年のエンゲル係数（消費支出中の食品支出の割合）は23.8%で、1981年以来43年ぶりの高水準になった。この物価高騰に賃上げが追いつかず、特に中小零細企業労働者やパートでは実質賃金は大きく目減りし、格差貧困は拡大した。

<発足8年めの到達点>

2024年度の企業・団体58及び個人19名から寄贈された年間食品総量は、43.0トン（内訳：玄米・精米1.9トン・野菜2.4トン・果物0.8トン・冷凍食品6.4トン・水&飲料8.2トン・災害食1.5トンなど）と前年比で約115%にやや増加した。このうちフードバンク間連携は約24.9トン（58%）であった。また、フードドライブでは、やや減の1.4トン（前年度1.6トン）に留まった。賛同スーパー等は8店舗のままであった。食品1kg当たりの我々のコストは、約45円（うち久留米市負担分0円、昨年度も0円）かかった。平均的食品価格を約600円/kgとすると、2,500万円に相当する。そのほか、洗剤・衛生用品・ノベルティなど非食品類も2.0トン取扱った。

嬉しいニュースとして、今年2月から新規に、(株)フランソア久留米工場から週2回食パンの寄贈が始まり、2ヶ月弱で1,633斤（613kg、1回平均96斤）にも達し、この先常時100斤前後の食パンを提供できるようになった。現在子ども優先に配布し、各団体から好評を得ている。加えて、米価高騰により農家からの古米の寄贈が激減した中で、ようやく今年から実現した政府保有米の法人格を有するフードバンクへの提供で、当会が申請した年間5トンの精米の第1回配布分の1トン弱を3月に受け取った。

食品支援団体は増え続け、合意書締結は86団体（前年度は78団体。子ども/地域食堂31・校区福祉団体8・ひとり親団体2・無料塾1・障がい者(児)支援団体15・社会福祉協議会8・路上生活者支援1・学生支援団体6など）になった。各々食品の引渡頻度が異なるものの、支援対象人数の総計では子ども約4,000名、大人約5,000名を遙かに超えている。地域別では、久留米市に59団体、周辺の小都市・広川町・筑後市・柳川市・みやま市・大川市・朝倉市・大木町・吉野ヶ里町・鳥栖市・佐賀市・唐津市に広がっている。

また、個別の生活困窮世帯への支援では、今は財政的・能力的に郵送や宅配など直接支援はできないものの、前年度と同様に、支援団体を經由して行ってきた。2024年7月に、社協をハブにする個別困窮子ども世帯への1年間の継続的な食料支援制度の新設とボランティア配達者の役割について、関係者50名と会合を持った。

「みのう農民組合」と協働の農業体験会として、2018年から継続してきた毎年11月恒例の柿収穫体験会は、一昨年の1年間の中断があったが、復活して通算11回目を実施した。

民間の助成金を原資に、継続的な子ども支援の一環として、子ども食堂と子ども支援や居場所提供団体を対象に、2020年度から始めた独自の約150ℓの縦型冷凍庫の10年間長期貸与制度は利用団体に好評で、すでに現在21台が貸与・活用されている。2024年度にも4台追加購入し、直ぐにも貸与できるように倉庫内に常時保管している。

また、2021年度から始めたボランティア費用弁済制度では、年度途中に1名増えたため昨年度より少し増え、年間活動費として年間約53万円が支払われた。燃料価格の高止まりにより、ガソリン代の弁済額をキロ当たり30円を維持し、総額約40万円になった。同じく高騰している電気代は、前年度とほぼ同額の約32万円であった。

財政的には、2024年度も福岡県フードバンク協議会(FFBK)を通じて、コスモス薬品と西日本シティ銀行からの子どもの未来支援・物流助成として160万円の他、久留米市社協10万円とで総額170万円に達したため、久留米市の補助金は申請しなかった。

なお当会は、福岡県の2024年食品ロス削減優良取組8団体の一つとして、10月22日県庁にて県知事より表彰された。

<見えてきた課題>

国と自治体によるフードバンク活動支援が明記された食品ロス削減推進法が2019年5月成立、同年10月施行されたものの、現段階でも具体的な施策は乏しい。しかし、ようやく今年から始まった政府備蓄米のフードバンクへの支援制度は、一歩前進である。また、我々の活動の財政的な足枷になっている毎年の固定資産市税=年間10.3万円も、事ある度に声を上げているが、免税される気配は今のところない。今後も市への働きかけを継続したい。

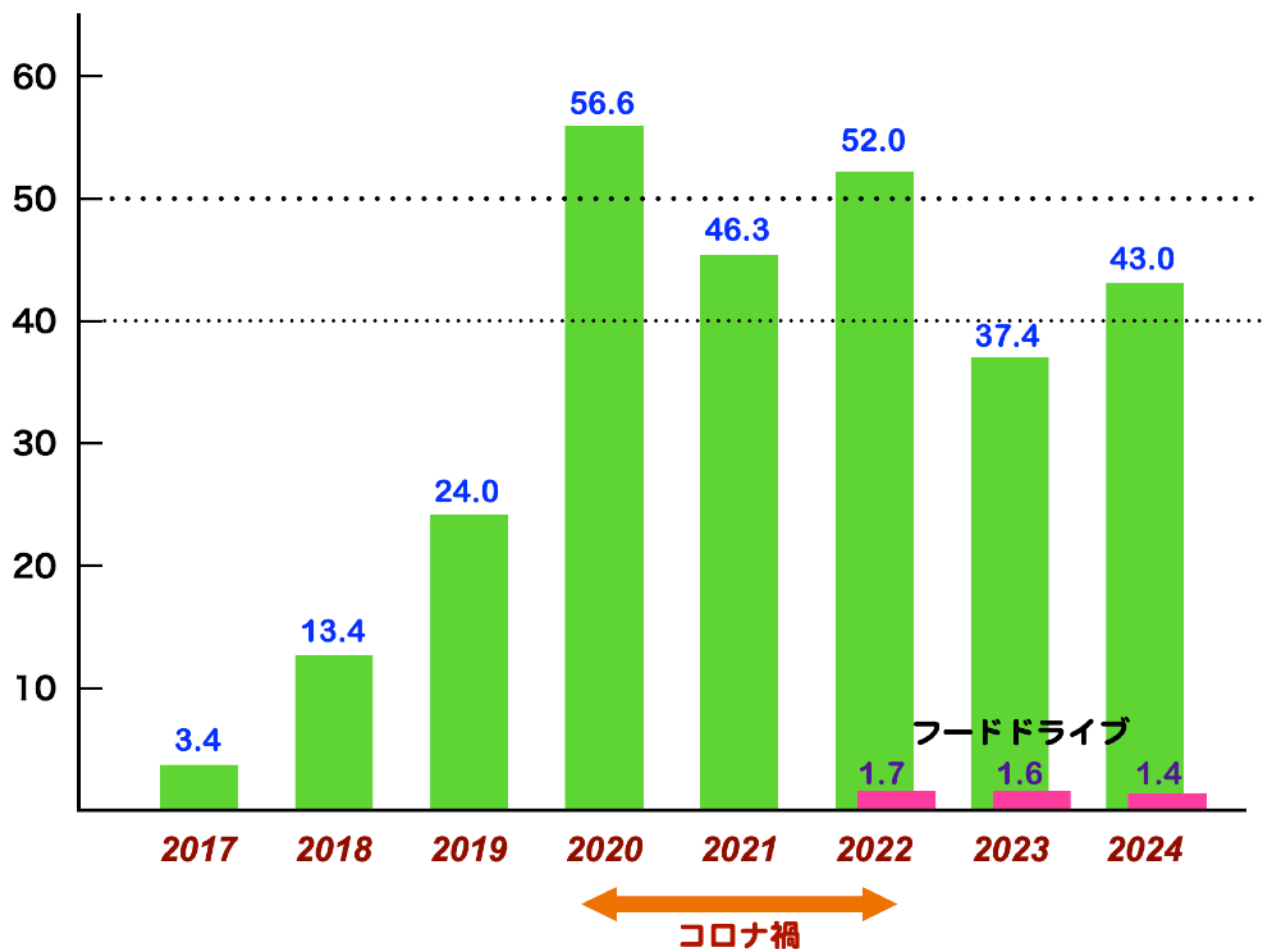
生活困窮世帯への間接支援として、各社協や生活自立支援センターの窓口での食品の手渡しのほか、地域の実情を知りうる立場の主任児童委員・民生委員・ソーシャルワーカー・子ども食堂(45校区に23)経由の支援は、個人情報制限下では有効な声を上げない／上げられない生活困窮世帯の発掘・支援ルートであるが、まだ一部の学校区に限定されている。既に関係者には提案済みの案件であるが、社協をハブにした新設の継続的な（毎月1回1年間の）個別世帯支援体制の実現が望まれる。また、地域的にも筑後地域東部のうきは市・東峰村への支援が届かず、サテライトの設置が望ましい。

この間、支援先団体と食品需要が増えた一方、年間食品取扱量では落ち込んだ前年度より15%増加した。フードドライブ・コーナーが通年比較的潤沢な割に、陳列棚に空きが目立つ時期もあり、新規に食品関連企業・団体の開拓を継続する必要がある。

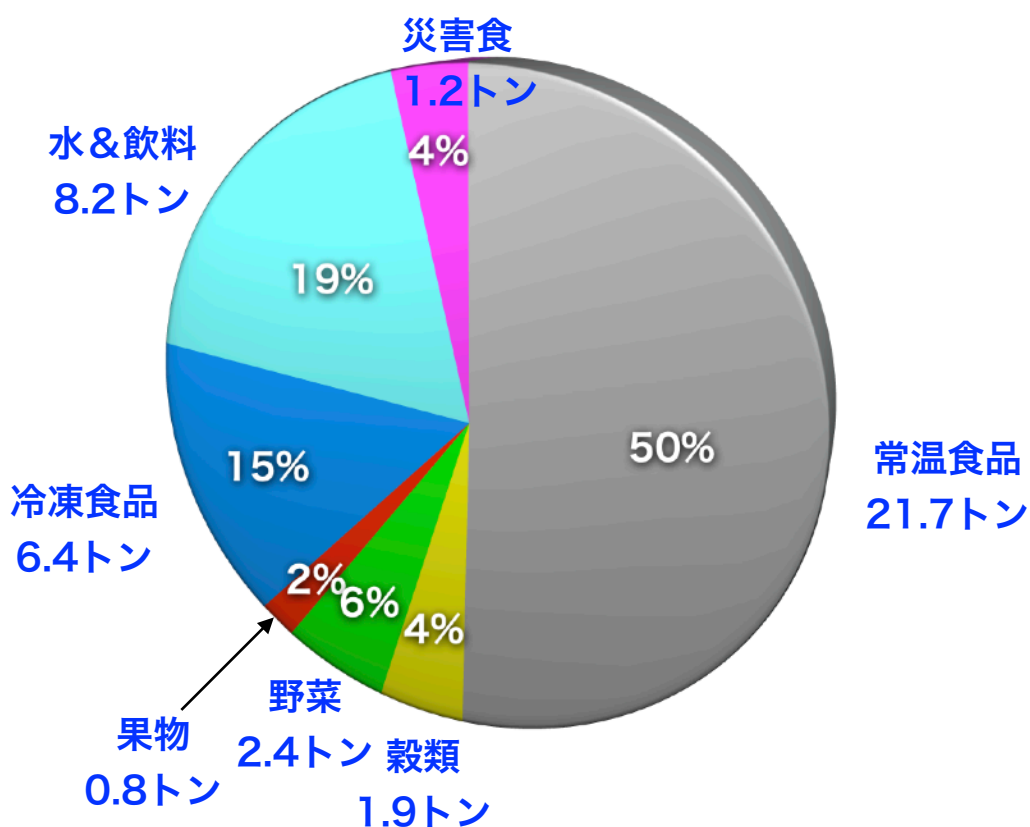
財政面では、2025年度も久留米市社協と福岡県フードバンク協議会経由の県内企業から、昨年度より10万円減だが150万円の助成金が約束されているため、繰越金とも合わせて十分は資金が確保されており、今年度も久留米市に補助金を申請する予定はない。

<資料>

2017～2024年度の年間食品取扱量比較



2024年度 43.0トンの食品別内訳



令和6(2024)年度 活動決算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

NPO法人フードバンクくるめ

科目	当初予算額A	決算額 B	差額 (B-A)	備考
I 経常収益				
1.受取会費				
正会員 (50口)	300,000	270,000	△ 30,000	5,000×54口
団体会員 (8口)	200,000	280,000	80,000	20,000×14口
賛助会員	20,000	0	△ 20,000	2,000×5口
2.受取寄付金				
受取寄付金 (個人)	100,000	5,200	5,200	3名
受取寄付金 (団体)	200,000	33,000	△ 167,000	2団体
3.受取助成金・補助金等				
受取民間助成金	1,600,000	1,600,000	0	福岡県FB協議会160万円
受取公的助成金	100,000	100,000	0	久留米市社協10万円
4.事業収益				
フードバンク事業収益	0	0	0	
5.その他収益				
受取利息	0	1,462	1,462	信金1,240、ゆうちょ222
雑収益	20,000	113,779	93,779	隣友の会倉庫賃借料96,000、社協講師料17,779
経常収益計	2,540,000	2,403,441	△ 136,559	
前期繰越額	2,562,682	2,562,682		
収入の部合計	5,102,682	4,966,123		
II 経常費用				
1.事業費				
(1) 人件費				通常ボランティア5→6人に増員
活動費	550,000	583,000	33,000	583口 (費用弁済：半日～1日当たり1,000円)
諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
人件費計	560,000	583,000	△ 23,000	
(2) その他経費				
賃借料	0	0	0	
旅費交通費	5,000	4,120	△ 880	福岡往復、春日原往復2
車両費 (ガソリン・高速料・駐車料)	350,000	408,660	58,660	ガソリン393,660@¥30/km、高速料14,700、駐車料300
消耗品費 (備品購入費)	300,000	204,790	△ 95,210	ハンドフォークリフト37,590、縦型冷凍庫(4台)167,200
委託料	10,000	0	△ 10,000	
光熱費	350,000	329,278	△ 20,722	電気料325,278、灯油4,000
保険料 (ボランティア)	2,000	2,450	450	350 x 6口@¥350+追加1口
その他経費計	1,017,000	949,298	△ 67,702	
事業費計	1,577,000	1,532,298	△ 44,702	
2.管理費				
(1) 人件費				
会計手当	20,000	20,000	0	
人件費計	20,000	20,000	0	
(2) その他経費				
印刷製本費	12,000	0	△ 12,000	
上下水道料	35,000	31,251	△ 3,749	上水道14,619、下水道16,632
諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
地代家賃	0	0	0	
雑費・消耗品費	150,000	47,770	△ 102,230	銀行手数料1,870、プリンター15,582、掃除機8,560
通信運搬費 (電話・ネット代、郵送料)	110,000	101,198	△ 8,802	電話32,552、光回線61,116、郵送5,380、ドメイン2,150
営繕費	150,000	29,700	△ 120,300	ホシザキ年間保守料29,700
固定資産税	104,953	103,300	△ 1,653	土地67,082、建物36,282 (100円未満切捨)
保険料 (建物損害)	60,000	58,400	△ 1,600	
諸会費	12,000	12,000	0	県FB協議会10,000、ボラ連2,000
図書・新聞費	5,000	0	△ 5,000	
予備費	150,000	0	△ 150,000	
その他経費計	798,953	383,619	△ 415,334	
管理費計	818,953	403,619	△ 415,334	
経常費用計 (支出合計)	2,395,953	1,935,917	△ 460,036	事業費計1,532,298+管理費計403,619
当期経常費増減額		286,138		当期経常収益1,935,917-前期経常費用1,649,779
III 経常外費用				
1.過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
経理区分振替額	0	0	0	
当期正味財産増減額	0	467,524	467,524	当期経常収益2,403,441-当期経常費用1,935,917
前期繰越正味財産額	944,799	2,562,682		
次期繰越正味財産額		3,030,206		

期末銀行残高 3,030,206円

2024年度 NPO法人フードバンクくるめ 活動決算書の要旨

<収入の部>

正会員費 27万円
 福岡県FB協議会 160万円
 利息 1,462円
 団体会員費 28万円
 久留米市社協 10万円
 倉庫賃料 10万円弱
 収入合計：240万円

繰越金

256万円

3/31

497万円

3/31

繰越金

303万円
(+47万円)

2023年度

2024年度

2025年度

<支出の部>

支出合計：194万円
 活動費 58万円
 車両費 41万円
 光熱費 33万円
 営繕費 3万円
 旅費 0.4万円
 会計手当 2万円
 上下水道料 3万円
 固定資産税 10万円
 消耗品費 25万円
 通信費 10万円
 保険料 6万円
 諸会費 1万円

監査報告書

NPO法人フードバンクくるめ
代表理事 浦川 豊彦 殿

2025年4月12日

NPO法人フードバンクくるめ

監事 堀英一郎 印

監事は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1)事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

令和7(2025)年度事業計画書
2025年4月1日から2026年3月31日まで

NPO法人フードバンクくるめ

1 事業実施の方針

任意団体設立から9年目、NPO法人化から3年目となる今年度は、衝撃のトランプ関税で世界的な政治と経済の混乱が必至で、結局生活弱者への大きなしわ寄せが予想される。特に米を筆頭に食品物価の高騰には収まる気配がない。そのため、より多くの食料支援を求める団体は、増えるであろう。

また、今まで手が届かなかった個別の生活困窮子育て世帯への配布事業を実現化する。これは社協をハブにする1年間の食品支援と課題解決である。具体的には、社協と関連する人々（民生・児童委員、スクールワーカー、自治会関係者など）と連携を図り、孤立し声を出さない／出せない個々の生活困窮子育て世帯の把握（アウトリーチ）、フードパック作り、配達ボランティアによる毎月1年間の配布と課題の聞き出し、それを行政・関連団体による課題解決に繋げる新規システムを構築する。

農業体験提供では、うきは市での柿収穫体験会の復活とフードバンクへ度々農産物提供をしてきた青年農家（メイショウ・ファーム@吉野ヶ里町）と協力して、市民に農業体験を提供するとともに市場に出せない農産物の提供を受ける。

法人所有車両として、実用性が高い保冷軽自動車の取得のため、各種の補助金募集に応募する。

また、財政的に許せば、短時間労働者を雇うことで、現在代表理事の事務作業を分担し、念のために事業継承できる体制作りを始める。

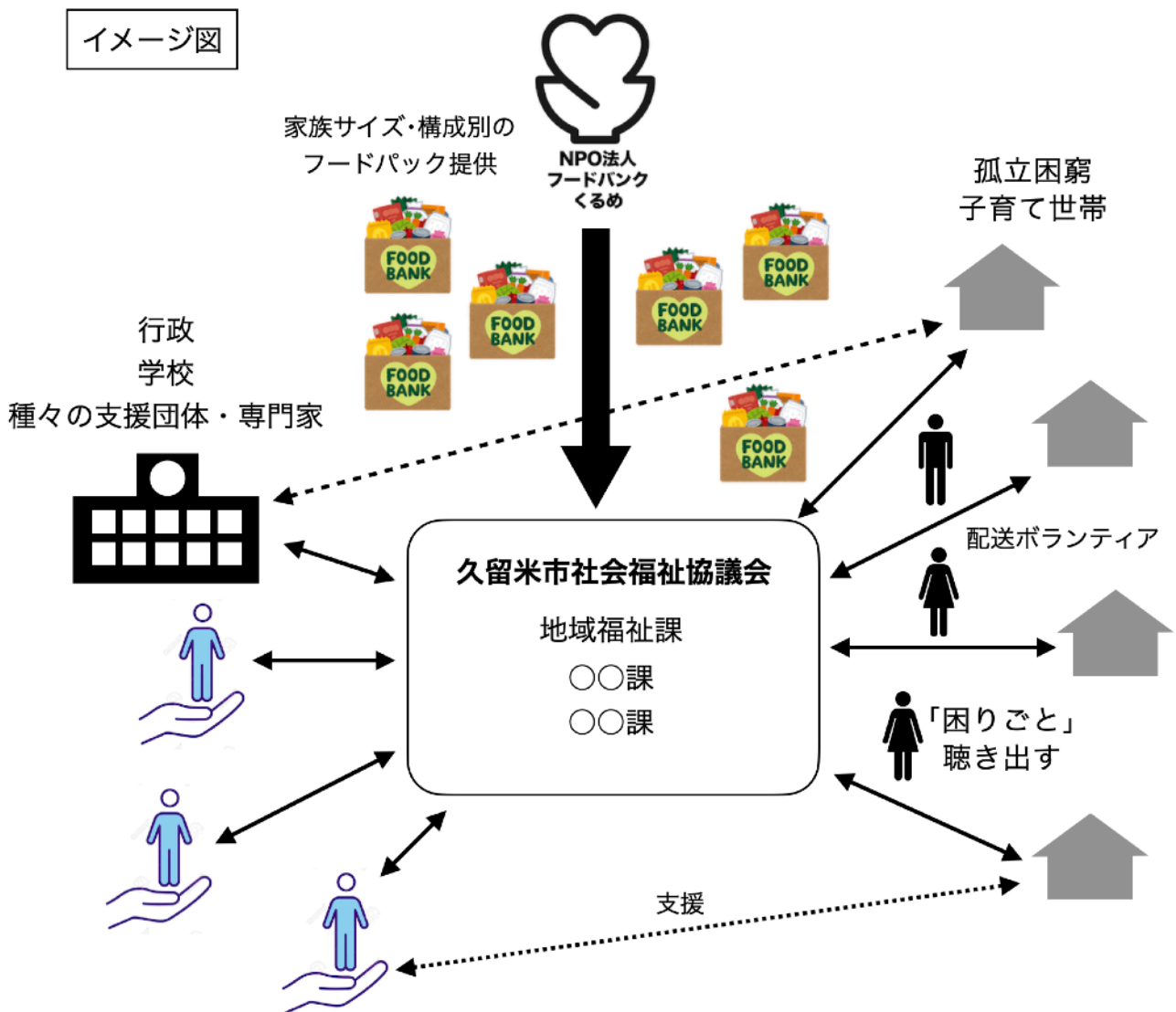
2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(千円)
フードバンク事業	食品の受領と分別・展示・保管並びに入庫・出庫管理 マッチングにより優先順位の高い支援団体への配分決定と引渡・配達 孤立生活困窮子育て世帯への支援体制発足	4月1日から年度末	城島倉庫	6人	子ども、生活困窮者、一人親家庭、福祉施設、自立支援施設、学生等 8,000~12,000人	1,580
ネットワーク構築事業	アウトリーチを進めるため他団体と協力して困窮世帯の把握と関連する支援団体と連携と調整	4月1日から年度末	各種困窮者支援者及び団体	6人	同上	90
普及啓発事業	各種イベント出展、印刷物配布、講演会の講師派遣	4月1日から年度末	イベント会場ほか	2人	食品関連企業や一般市民向け	100
農業体験提供事業	農業体験会の主催	11月ほか	うきは市ほか	5人	子どもや親、一般市民 50~100人	100
その他目的を達成するために必要な事業	実施予定なし					

社協をハブにする孤立困窮子育て世帯支援制度 新設へ

- ※ 民生委員・児童委員・スクールソーシャルワーカーなどからの情報収集
- ※ 社協による支援判断
- ※ 1年間月1回の定期的食品支援(フードパック)
- ※ 配送ボランティアによる対面手渡し
- ※ FBによる1回当たり500円支給
- ※ 「困りごと」の聞き出し
- ※ 課題解決へ



2025 年度 活動予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

NPO法人フードバンクくろめ

科目	当期分 A	前年度分 B	増減 (A-B)	備考
I 経常収益				
1.受取会費				
正会員	300,000	300,000	0	60口
団体会員	300,000	200,000	100,000	15口
賛助会員	10,000	20,000	△ 10,000	
2.受取寄付金				
受取寄付金 (個人)	100,000	100,000	0	
受取寄付金 (団体)	100,000	200,000	△ 100,000	
3.受取助成金・補助金等				
受取民間助成金	1,500,000	1,600,000	△ 100,000	福岡県FB協議会からの配分150万円確定
受取公的助成金	100,000	100,000	0	久留米市社協10万円
4.事業収益				
フードバンク事業収益	0	0	0	
5.その他収益				
受取利息	1,500	0	1,500	
雑収益	20,000	20,000	0	
経常収益計	2,431,500	2,540,000	△ 108,500	
前期繰越額	3,030,206	2,562,682	467,524	
収入の部合計	5,461,706			
II 経常費用				
1.事業費				
(1) 人件費				
活動費	600,000	550,000	50,000	前年実績：583,000、ボランティア6名
ボランティア配達者支給費	60,000	0	60,000	新規個別困窮子ども世帯支援、10x12x500円
諸謝金	10,000	10,000	0	
人件費計	670,000	560,000	110,000	
(2) その他経費				
賃借料	0	0	0	
旅費交通費	5,000	5,000	0	前年実績：4,120
車両費 (ガソリン・高速料)	440,000	350,000	90,000	前年実績：408660
備品購入費	300,000	300,000	0	縦型冷凍庫4台分ほか
委託料	10,000	10,000	0	
光熱費 (電気料、灯油代)	350,000	350,000	0	前年実績：3329,278
保険料 (ボランティア)	2,100	2,000	100	6口@350円/人
その他経費計	1,107,100	1,017,000	90,100	
事業費計	1,777,100	1,577,000	200,100	
2.管理費				
(1) 人件費				
会計手当	20,000	20,000	0	
人件費計	20,000	20,000	0	
(2) その他経費				
印刷製本費	12,000	12,000	0	新チラシ作成
上下水道費	35,000	35,000	0	前年実績：31,251、料金値上げ
諸謝金	10,000	10,000	0	
地代家賃	0	0	0	自前倉庫のため費用負担なし
雑費・消耗品費	100,000	150,000	△ 50,000	前年実績：47,770
通信運搬費	110,000	110,000	0	前年実績：101,198
営繕費	150,000	150,000	0	
固定資産税	103,300	104,953	△ 1,653	前年実績：103,300
保険料 (建物損害)	60,000	60,000	0	前年実績：58,400
諸会費	12,000	12,000	0	県FB協議会10,000、ボラ連2,000
図書・新聞費	5,000	5,000	0	
予備費	150,000	150,000	0	
その他経費計	747,300	798,953	△ 51,653	
管理費計	767,300	818,953	△ 51,653	
経常費用計 (支出合計)	2,544,400	2,395,953	148,447	
当期経常費増減額				
III 経常外費用				
1.過年度損益修正損	0			
経常外費用計	0			
経理区分振替額	0			
当期正味財産増減額	0			
前期繰越正味財産額	3,030,206	2,562,682		
次期繰越正味財産額				

令和6(2024)年度 貸借対照表

令和7(2025)年3月31日現在

NPO法人フードバンクくるめ

(単位：円)

科目		金額 (単位：円)	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	0	
普通預金	福岡県信用組合 城島支店	2,425,274	
普通預金	ゆうちょ銀行 旧通帳	1,000	
普通預金	ゆうちょ銀行 NPO新通帳	603,932	
流動資産合計			3,030,206
2 固定資産			
土地		6,845,147	
建物		2,591,588	
車両運搬具		0	
什器備品		0	
固定資産合計			9,436,735
資産合計			12,466,941
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		0	
預り金		0	
短期借入金		0	
流動負債合計			0
2 固定負債			
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		11,999,417	
当期正味財産増減額		467,524	
正味財産合計			12,466,941
負債及び正味財産合計			12,466,941

2025-26年度 役員および報酬

役職	氏名	報酬
代表理事	浦川 豊彦	無し
理事	綾戸 信之	無し
理事	江頭 ひとみ	無し
理事	田村 貴美子	無し
理事	馬場 浴文	無し
監事	堺 英二郎	無し